



—東地中海地域ニュース—

トルコ：ナブッコ・プロジェクト政府間合意の署名

(7月13日付現地報道)

7月13日、ナブッコ・天然ガスパイプライン・プロジェクトに関する政府間合意がアンカラで署名された。報道振り概要は以下の通り。

1. 13日アンカラにて開催された式典において、トルコ、ブルガリア、ルーマニア、ハンガリー、オーストリアが各国に天然ガスを供給するナブッコ・天然ガスパイプライン・プロジェクトの実現に向けた「ナブッコ政府間合意」に署名した。このパイプラインは、カスピ海周辺の天然ガスを、トルコを經由してオーストリアまで約3,300kmのパイプラインを建設して東ヨーロッパに年間310億m<sup>3</sup>供給するものであり、約102.6億米ドルが投資されるプロジェクトである。

2. トルコ関係者

- (1) エルドアン首相は、条件さえ合えば、イラン産天然ガスがナブッコ・天然ガスパイプラインを通じてヨーロッパに輸送される事を期待している、と述べた。
- (2) ユルドゥズ・エネルギー大臣は「6ヶ月以内にこの計画の詳細に関する合意がなされるであろう」と述べた。

3. EU・米国関係者

(1) ジョセ・マヌエル・ドゥラン・バローゾ欧州委員会委員長

我々がナブッコ・天然ガスパイプラインの実現に対する懐疑論者や疑心論者を困惑させる 때가到来した。このパイプラインは、可能性に基づくものではなく、必然性に基づくものであると信じている、また、トルコ及び中央・南東ヨーロッパにとってエネルギー安全保障、エネルギーの持続的供給の観点から極めて重要なプロジェクトである、2014年までに天然ガスの輸送が可能になると考えており、トルコとEUとの関係において、今回の合意が新たな時代のドアをあけることになるであろう。パイプラインは鋼材で建設されるがナブッコは人々との絆を繋ぐものになる。

(2) リチャード・モーニングスター米国ユーラシアエネルギー問題特使

イランがナブッコ・天然ガスパイプラインに参加するとは考えられない。また、アゼルバイジャンはナブッコ・パイプラインにとって必要条件ではあるが、絶対条件ではない。ロシアとは今後エネルギーの分野で積極的に関与していきたいと考えており、

ナブッコ・天然ガスパイプラインについても参加の可能性があるであろう。結果としてマイナスになるようなゲームはしたくない。我々はロシアとの信頼関係をどう築いていくのかを模索していかなければならない。

#### 4. 天然ガス供給国関係者

(1) 13日、イラク、エジプト、シリアはナブッコ・天然ガスパイプラインに自国で産出された天然ガスを供給する用意があることを公表した。

なお、トルクメニスタンは、10日同様のことを公表している。

(2) イラクのマーリキー首相は、「イラクはナブッコ・天然ガスパイプラインに約150億 $m^3$ の天然ガスを供給する用意がある」と述べた。

(3) アゼルバイジャンのナティク・アリエフ産業エネルギー大臣は、「天然ガスパイプラインに関連する全ての目標に対して支援をする」と述べた。

#### 5. ロシアの動き

ロシアはナブッコ・天然ガスパイプラインに対抗して、ロシア産天然ガスをバルト海を通じてドイツに供給する「ノルド・パイプライン」と、黒海を通じてブルガリアに供給する「サウス・ストリーム」の建設を推進している。